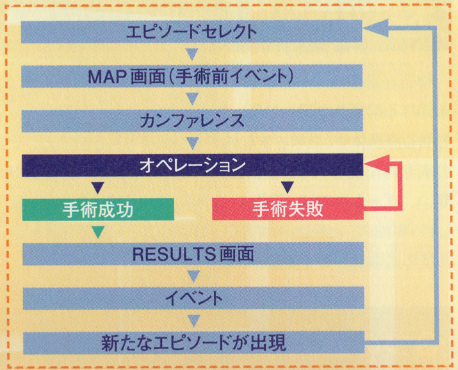
ゲームの流れ

ここでは、プロローグからエピローグまでのストーリーの流れや基本的な手術の流れ、そして手術を進めるにあたって、事前に知っておきたいゲームの仕組みを解説する。

ストーリー進行は「エピソード」の繰り返し

ストーリーは、7つのチャプターに分かれており、各チャプター内には6～9個のエピソードが用意されている。各エピソードでは、右図のような流れで手術を行なうことになり、手術を成功させることで新たなエピソードに挑戦できるようになる。ただし、エピソードのなかには会話シーンのみのものも存在し、その場合は会話シーンを確認した時点でつぎのエピソードが出現することになる。プロローグからスタートして、エピローグを迎えるまでにエピソードは全部で51用意されているが、ストーリー自体に分岐はなく、エピソードをひとつずつこなしていけば、進行に戸惑うことはない。なお、エピローグまで進むと隠しチャプターのXステージ(EXTREMEモード専用チャプター)が追加され、さらに7つのエピソードが順に遊べるようになる。

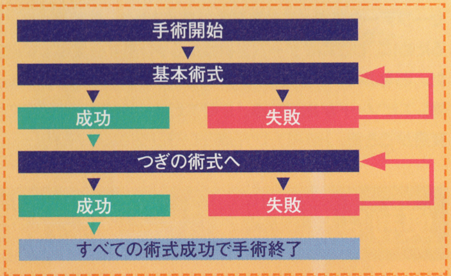
■ゲームの流れ



手術の基本用語と流れ

切る、縫うといった手術の基本作業を「処置」、またそれらを組み合わせた症状への対応の手順を「術式」と呼ぶ。手術はまず患部への処置を繰り返して行ない、すべての処置を終えると術式が完了する。そしてひとつの患部の術式を終えたら、つぎの患部の術式に取り掛かるという流れとなる。こうしてすべての術式を終えると手術が成功し、エピソードが終了する。ちなみに、ひとつの処置を行なうとそれに対する成功か失敗かの判定と、成功の場合はその評価がアイコンで表示される。各アイコンの意味は以下のとおり。

■手術の流れ

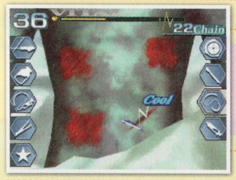


■評価、判定アイコン一覧

タイプ	アイコン	術式成否	手順	意味
評価	Cool	➡ 成功	つぎの術式 or 手順へ	とてもよい理想的な処置を示す
評価	Good	➡ 成功	つぎの術式 or 手順へ	ふつうの処理。もっとよい処置が可能ということを示す
評価	Bad	➡ 成功	つぎの術式 or 手順へ	とりあえず成功という最低ラインの処置を示す
判定	Ok	➡ 成功	つぎの処置 or 手順へ	処置の完了を示す
判定	Miss	➡ 失敗	やり直し	Missカウントありで患者のバイタルに影響する失敗を示す
判定	表示なし	➡ 失敗	やり直し	Missカウントなしの単なるやり直しの失敗を示す
判定	Defeat	➡ 成功	つぎの術式 or 手順へ	ギルスを消滅させたことを示す

評価の仕組み

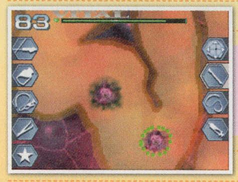
評価のアイコンが表示されるタイミングは、規定の器具で処置を終えたときと、術式を終えたときが多いが、このときの評価は、表示されたときに行なった処置の評価ではなく、その処置を終えるまでの総合評価になっている。つまり、「Ok」と表示された処置のなかにも評価対象になるものがあるのだ。評価の判定基準は各術式ごとに設定されており、評価が決まる条件は、ひとつでも「Bad」があると「Bad」、「Bad」はないが「Good」がひとつでもあると「Good」、「Cool」のみで進めていると「Cool」になる。



なるべく評価が「Cool」になるように処置しよう。評価の基準については基本術式解説(32～56ページ)で確認できる。

チェインの仕組み

処置を終えたときに、「Ok」、「Good」、「Cool」のいずれかが表示されると、それがChainとしてカウントされ、続けてChainを獲得することで連続成功回数がカウントされていく。ただし、「Miss」や「Bad」になると、それまでに稼いだChain数がリセットされ、0からやり直しになる。Chain数は直接得点や評価には影響しないが、手術を成功に導くためにも、極力繋げるように処置するといいだろう。



表示させたガイドラインが消えた場合も失敗扱いのため、アイコンは表示されないが、Chainは切れてしまう。

手術時間の仕組み

各エピソードには、手術を行なえる制限時間が設定されており、制限時間が0になると手術失敗でゲームオーバーになってしまう。残り時間が1分以下になると、オペレーターからその旨を告げられるうえ、患者のバイタルを示すゲージの上に「TIME LIMIT WARNING」の文字が一定タイミングで表示されるようになる。ただし、エピソードのなかには、0秒から時間が進むタイムアタック形式の手術も存在し、その場合のみ制限時間で手術失敗になることはない。



「TIME LIMIT WARNING」の文字が表示されたら処置を急ごう。残り時間が30秒以下になると再度告げられる。

連続執刀の仕組み

エピソードのなかには、複数の患者が運び込まれ、連続で執刀する場面も用意されている。この連続執刀では、患者をすべて治療すると手術成功で、途中の患者まで手術を終えていたとしても、最後まで終えないと手術失敗となり、初めの患者からやり直すことになる。なお、この連続執刀では、患者のバイタル値は引き継がれないが、Chain数や制限時間といった要素は引き継ぐことになる。



連続執刀のエピソードでは、最大で3人の治療を行なう。処置の手順も多くなり、人数分の時間配分が必要になる。